

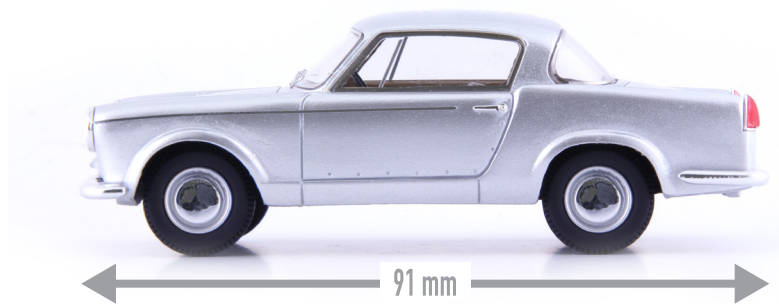
Scale 1/43

#06042

available

10/2020

limited edition 333 Stk.



プロジェクトKF IV

1955年のニュルンベルク:オートバイの製造で有名になったツェンダップ社は、小型車「ヤヌス」で地元の自動車市場に足場を築こうとした。しかし、彼らが考えたのは小型車分野参入だけではなかった。彼らはまた、はるかに高いお金を落としてくれる「スポーティな」顧客をターゲットにする必要があった。

1956年の春、ツェンダップは「プロジェクトKF IV」と呼ばれる車の最初の設計を請け負った。ニュルンベルクに本拠を置くツェンダップは、デザインに費用をかけずに、ピニンファリーナのデザインオフィスに依頼して魅力的なボディを作った。そのために、ツェンダップはエンジンダミーを装備したシャーシをトリノに送った。ついに1956年の秋に委託設計が完成した。会社のボスであるハンス フリードリッヒ ノイマイヤーは、ツェンダップの新しく設計された未来のスポーツカーを見るためにイタリアに車で向かった。手作業で仕上げられたアルミニウムスキンの重量は、シートと機器を含めて450kgだった。この重量は量産でさ

らに軽量化されるはずだった。結局、完成車の最終重量は775~800kgになりそうだった。

このモデルに合う独自のエンジンがなかったため、ツェンダップは英国のメーカーであるコベントリークライマックスの1.1リッターで78馬力の強力なスポーツエンジンを使用した。スポーツカーの開発はすぐに顧客家族の熱狂的な関心の的となり、1957年以降一年続いた。1957年の春、最初の実用的なテストが完了したが、高価なイタリアのアルミニウムスキンではなく、いわゆる「慣らし運転用ボディ」を使用した。テストドライブでは、多数の大きな欠陥と数え切れないほどの小さな欠陥が明らかになり、それらの調整により、当初確立されたスケジュールが大幅に遅れた。1958年春に予定されていた本格的な生産の開始は、早期に延期されなければならなかった。このスポーツカーのために多くの時間が浪費され、まだまだ改善の余地が残っていた。財政不安が生じ、二輪車の販売のほう大幅に落ち込んだことで、さらに悪化した。

1958年の夏、「プロジェクトKF IV」は中止となり、二輪車の生産に専念することが決定された。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de